



『CANNUS キャンナスニセコ 発会式・講演会』開催要項（案）

<現状と経過>

晩婚化が進み、第一子の平均出産年齢が30歳を超え（人口動態統計 2021年 30.9歳、1950年 24.4歳）、妊娠出産、育児の忙しい時期に同時に親の介護が重なる家族や、家族に医療が必要な家族がいるなど、家族の中心となる母親の負担がますます増えている。また、弊社が行うなみうち助産院ではダブルケア、ヤングケアラーの問題のほか、母親が産後・育児中に体調を崩しケアが必要となる家族の相談が増え、サポートを求める声も聞かれるようになってきている。

地域の医療体制はコロナ禍の影響からも、在宅医療が十分な体制であるとは言えず、地域では介護保険、医療保険の限界がある。

出産後も心配なく育児・子育てに専念でき、家族の負担を少しでも軽減できるためにも、地域での取り組みや連携、体制づくりが重要な地域である。

キャンナスニセコ発会にあたり、地域の母親にとって一番身近な相談役である自治体の保健師や在宅医療を支える医療機関と地域の課題を共有し、各機関の医療関係者が学びを深め、より充実した地域医療を展開できるよう、「CANNUS キャンナスニセコ発会講演会」を開催する。

<開催目的>

地域の医療職が在宅医療及び地域の社会資源、キャンナスの活動について学びを深めるとともに、関係者が連携し充実した地域看護を展開することで、地域住民の生活の質の向上を図り、住民が暮らしている地域で個々の生活スタイルに合ったサポート体制で生活できる家族を増やす。

<開催内容>

講義「キャンナスの活動からみた在宅医療の現状」	60分
報告「キャンナスニセコ発会に至るまで」	20分
まとめ・質疑	10分

<プログラム>

- 18:30~19:30 講義「キャンナスの活動からみた在宅医療の現状」
講師：全国訪問ホスピタリティーの会キャンナス 代表 菅原由美
- 19:30~19:50 報告「キャンナスニセコ発会に至るまで」
報告者：なみうち助産院 院長 浪内淳子
- 19:50~20:00 まとめ・質疑

<ねらい>

- 1 CANNUS キャンナスの活動内容について知る
- 2 キャンナスの活動実績からみた在宅医療の現状を学ぶ
- 3 キャンナスニセコ発会に至る経過を知る
- 4 出席者が在宅医療や連携について、あらためて考える機会となる
- 5 出席者が自分の立場でできることにつなげ、日頃の活動に生かせる
- 6 キャンナスの活動について、疑問やわからないことを解決できる場となる

<開催日時・場所ほか>

日 時：令和4年9月5日（月） 18時30から20時

場 所：①倶知安厚生病院 講堂（仮）

（住所 倶知安町北4条東1丁目2 電話 0136-22-1141）

②ニセコ町民センター 研修室（仮）

（住所 ニセコ町富士見 95 電話 0136-44-2221）

※上記①か②のどちらかで調整中

参加費：無料

<対象者>

- ・医療関係者
- ・在宅医療に興味のある方

<周知先・周知方法>

- ・保健師（市町村・保健所ほか）
- ・医療機関（倶知安厚生病院、岩内協会病院）地域連携室
- ・訪問看護ステーション（倶知安厚生病院、岩内協会病院）
- ・上記各機関、近隣町村保健師係長あてに通知するほか、なみうち助産院ホームページ、SNS 等による周知
- ・申込みはQRコード、メールまたはFAXとする

<問い合わせ>

電話：0136-55-8524

FAX：0136-55-8532

Mail：info@mammajo.com